

(様式1・小学校用①)

令和元年度 学 校 評 価 報 告

草加市立新里小学校

(令和2年2月10日作成)

1 学校教育目標	
学校教育目標	かしこく（知） なかよく（徳） たくましく（体）
学校像	誇りの持てる学校 新里小 （1）明るく楽しい学校 （2）凡事徹底を図る学校 （3）地域とともに子どもを育てる学校
2 重点目標・努力目標	3 前年度の成果と課題
○基礎的・基本的な知識の習得と自ら学ぶ力の育成を目指す ○基本的な生活習慣の育成を目指す ○学校・家庭・地域との連携の強化を図ることを目指す	成果 ○基礎基本の定着を中心とした学力向上を目指した研究により、教員の授業力が向上し、児童の学力向上が図れた。 課題 ●さらなる学力向上と幼保小中との連携、不登校児童対策

4 評価表 ※評価基準〔A：十分達成している B：おおむね達成している C：やや不十分である D：不十分である〕				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
I 学校運営に関するもの	①組織運営	・学校経営目標、方針 ・校務分掌組織 ・適所への適材配置 ・職員会議等の運営 ・予算の執行・決算、監査等	B	○校務分掌組織の見直しにより、組織運営の円滑化が図られ、目指す学校像に向けて、確実に校務が遂行できた。 ○予算執行にあたり、学年・管理職の点検・外部監査等により、会計事故0が維持できた。
	②研究・研修	・研究組織、計画、実施 ・校内研修の推進 ・授業改善への取組 ・校外研修会への参加 ・人材育成	A	○授業研究を核とした校内研修の推進により、指導法改善と学力向上に向けて成果を上げた。 ○道徳や外国語活動など外部研修会等で得た最新情報を校内で共有することで、学び高め合う教職員集団の育成につながった。 ●若手教員とミドルリーダーの育成
	③保健管理・安全管理	・保健計画、安全計画 ・環境衛生の管理 ・健康観察、安全点検 ・緊急事態発生時の対応 ・危機管理マニュアルの作成・活用	A	○学校保健計画に基づいて全教職員で共通理解を図り、保健安全と環境安全など適正に対処した。食物アレルギー対応など安全に行うことができた。 ○緊急事故等の際には、迅速かつ丁寧に対応することができ、再発防止にも取り組んだ。
	④情報管理・施設設備管理	・個人情報の管理、保護 ・施設設備の管理と有効利用	B	○情報管理の徹底を図るため、校内規定を周知するとともに、倫理確立委員会を核とした研修会を実施して、共通理解を図った。 ●個人情報等の管理の徹底

⑤地域との連携 開かれた学校	・学校情報の発信 ・学校公開の実施 ・学校運営協議会、 学校評議員制度の活用 ・地域、校種間連携 ・PTA活動の活性化	A	○HPの随時更新と各種便りにより、情報発信の充実を図った。計画的な学校公開を有効活用し、開かれた学校づくりを推進した。 ○外部講師（地域人材）の活用により、児童の体験的学習を充実させた。
⑥幼保小中を一貫した教育	・目指す子ども像の共有 ・15年間を通じた教育課程の編成 ・一貫教育推進のための組織づくり	B	○幼保小、小中、小高の連携を強化し、計画的に交流活動を実施した。 ○幼保小中合同研修会、相互の授業参観や研究会を実施し、幼保小中を一貫した教育の充実を図った。 ●さらなる幼保小中を一貫した教育の推進

（様式1・小学校用②）

草加市立新里小学校				
領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
II 教育活動に関するもの	①教育目標・教育計画	・15年間を通じた教育課程の編成、実施 ・教育計画の作成 ・教育活動の評価 ・目標、方針の周知 ・授業時数の配当、確保	B	○本校の教育計画に基づき、確実に教育活動を実施・評価・検討し、改善を図ることができた。 ○教育課程の適正な実施を図った。 ●学力向上に向けた教育計画の見直し
	②教科指導	・指導計画の立案 ・主体的・対話的で深い学びの 視点に立った授業改善 ・評価、評定の工夫 ・外部人材の活用	A	○校内授業研究を通して、統一した指導法の改善、徹底を図り、教員の授業力向上を推進した。 ○ICTの有効活用により、授業の充実を図った。 ●教員のさらなる授業力の向上
	③道徳教育	・全体計画の作成 ・各教科との関連 ・道徳的実践力の育成 ・家庭、地域社会との連携 ・いのちの教育の推進	B	○全体計画に基づき、全教科領域で道徳的実践力の育成を図った。 ○道徳部会を核として研究授業や研修会を実施し、道徳の授業力向上を図った。 ●道徳の指導方法と評価の研究
	④外国語活動	・指導計画の立案 ・指導方法の工夫と改善 ・評価、評定の工夫 ・各教科、道徳教育との関連 ・中学校との連携	B	○ALTと連携し、外国語活動の充実を図った。 ○草加南高校との外国語交流活動を実施し、児童の外国語への興味・関心を高めることができた。 ●教員の授業力の向上
	⑤特別活動	・指導計画の立案 ・学級活動、学級経営 ・学校行事 ・児童会活動	B	○各学年とも指導計画に基づいた学級活動を実施することができた。 ○計画的に異年齢集団とのふれあい活動を実施し、交流を図った。 ●学校行事の目標の明確化と内容の改善

⑥「総合的な学習の時間」の指導	・指導計画の立案 ・指導内容の充実 ・指導方法の工夫と改善 ・評価の工夫 ・地域の人材・物的資源の活用	B	○体験活動を重視した授業展開の充実を図った。 ○地域との交流・環境教育・国際理解教育等に関する内容に取り組み、児童一人ひとりが課題を追求する授業展開を実施した。
⑦生徒指導	・組織的な生徒指導 ・問題行動への対処 ・教育相談、児童理解 ・いじめ防止対策 ・保護者、地域、諸機関との連携	B	○生徒指導委員会、いじめ防止対策委員会を中心に情報交換や報告・連絡・相談の徹底、関係機関との連携、組織的な生徒指導により、早期発見・早期対応で成果をあげた。 ●不登校児童対策、配慮を要する児童への対応
⑧キャリア教育	・計画の立案 ・指導内容の充実 ・中学校との連携 ・啓発的経験の充実 ・家庭、地域との連携強化	B	○将来の夢や職業について、学級活動などで具体的なイメージ化を図った。 ○地域との交流、見学などを通して、働くことに対して関心を持たせた。
⑨特別支援教育	・個別の指導計画、支援計画 ・指導方法の工夫と改善 ・通常学級との交流 ・諸機関との連携 ・校内支援体制の整備	A	○通常学級との交流活動の機会を増やし、充実させた。 ○臨床心理士や草加かがやき特別支援学校のコーディネーターによる指導や助言を個別支援に生かした。
⑩学校図書館教育	・指導計画、支援計画の作成 ・図書館補助員の活用 ・諸機関との連携 ・図書館の整備 ・図書館利用の工夫	B	○学校司書、司書教諭を核に保護者・地域の方によるボランティアの協力を得ながら、読書環境の充実を図った。 ○教員の意識改革と第2図書館の整備充実により、読書指導が充実した。
⑪情報教育	・教育計画の作成 ・校内研修の充実 ・ICT機器の積極的な活用 ・情報モラル教育の推進	A	○ICTの有効活用により、授業展開の幅を広げ、指導法に生かした。 ○PCを活用した授業や携帯・スマホの使い方など情報モラル教育を推進した。 ●ICTを効果的に活用した指導方法の工夫
⑫人権教育	・全体計画の策定 ・各教科との関連 ・人権感覚の育成 ・校内研修の充実	B	○体験活動などを通して児童一人ひとりの人権感覚の育成を図った。 ○校内研修等を通して、教職員の人権教育に対する意識を向上させた。 ●校内研修の充実と人権教育の計画と内容の見直し

草加市立新里小学校

領域	評価項目	評価の観点	評価	成果と課題 ○成果 ●課題
Ⅲ 特色ある学校づくり	① 学力向上	- 基礎基本の定着 - 書く活動の研究 - 読む活動の研究 - 家庭学習の研究	B	○校内の授業研究の積み重ねにより、教員の授業力が向上し、児童の関心・意欲の向上と基礎基本の定着が図れた。 ○学力向上推進委員会を中心に授業改善、指導体制の改善を図り、成果を上げた。 ○保護者との連携を密にして、家庭学習と読書習慣が定着してきた。 ●基礎基本の定着と活用能力の育成
	② 健康・体力の向上	- 健康増進のための組織の活用 - 授業外での健康・体力の向上 - 家庭との連携	B	○体力向上を目指した体育の授業の充実と体育的諸活動の改善・充実を図った。 ○学校保健委員会を活用し、歯磨き指導など保護者への健康教育の啓発を行った。 ●体育科の授業改善(新里モデルの徹底)
	③ 家庭・地域との連携	- 幼保小中の連携 - 学校応援団との連携 - 開かれた学校づくり - 地域人材の活用	A	○幼保小中の連携の取組を継続的に実施して、充実を図った。 ○学校応援団の協力による安心・安全な学校づくりと地域の人材を活用した体験活動の充実を図れた。 ●幼保小中を一貫した教育のさらなる推進

5 総合評価 (学校関係者評価を含む)

○算数科を中心とした校内研修の実施により、お互いに高め合う教職員集団となり、教員の授業力向上と児童の学力向上を図ることができた。

○第1、第2図書館の環境整備の充実と教員の意識改革により、児童の読書熱向上を図ることができた。

○組織的かつ積極的な生徒指導を実践し、迅速な対応に心がけ、早期発見・早期対応に努めた。

○PTA、地域の方々や関係機関との連携によって、安心で安全な学校づくりを推進することができた。

○幼保小、小中、小高の連携を様々な教育活動の場において実践し、成果を上げた。

○幼保小中を一貫した教育の推進に向けて、合同研修会や相互授業研究会等を実施した。

6 次年度の改善策

●組織体制を整備し、各学力・学習状況調査の評価・分析を行い、本校の実態や課題を明確にし、改善策を検討して、児童一人ひとりの学力向上を図っていく。

●校内研修、授業研究を通して、さらなる教員の指導力向上を図る。

●積極的で組織的な生徒指導の継続と児童に寄り添う教育相談(支援チームの充実)により、児童一人ひとりをより大切にしたい指導を行い、いじめ根絶、不登校児童減少を目指す。

●幼保小中を一貫した教育の取組の継続と強化、教員の共通理解を図りながら、研究を推進していく。